



サンユー農産の今をお届けする

ありがとうございます

# 有限会社 サンユー農産

NO.68

健康村コロポックルの里  
(札幌事務所)

2022年12月号

ありがとうございます。農園の作業風景や農作物の話、北海道仁木町の四季折々の景色や出来事などを思いつくままに綴るニュースレターです。

公式ホームページ <https://korop-siso.com>

**TEL 0120-560-963 FAX 011-668-1187**

たまちゃんがきてから、



※ガーゼ服を着たたまちゃん

フランシヨンリーダーたまん



病院は、  
傷の保護の  
ために、術後  
に、カーテンで作った  
暗を、着せる所であった。

A simple line drawing of a cat's head and upper body, facing right. The cat has brown and white fur, large expressive eyes, and a small tuft of hair on its head. To the right of the cat is a speech bubble containing Japanese text.

だから、たまちゃんは、  
洋服を着ることに、抵抗が  
なかつた。



「バウ ハハ」 ← 「ハニッケー」にハマビツ  




今回もサンユー農産の



本名 たま 11才 女  
あだ名 { たまちゃん  
たまこ  
たまこさん

たまちゃんは  
若い=3(1~8才)  
ぐらん  
狩りが上手で



無人販売所ですが、最近では冷凍肉のお店も増えてきました。こちらも、冷凍庫から肉を取つて、お金をボックスに入れる方法だそうです。ですが、人件費がかからない分商品を安くすることができるらしく、利用者には好評だそうです。対面販売と比較して、もしかしたら気楽なのかもしれません。コンビニでも、無人販売のトライアルをしていくところがあるようですね。でも、私は何でもかんでも無人販売になってしまるのはちょっと寂しい気もしています。私は、日常生活の上で一定のコミュニケーションを取りたいと思っている方なので、「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」というあいさつや、商品に関する店員さんとのやり取りなどに楽しみを見出しています。そういう意味では催事販売は、コミュニケーションをしながら販売をする究極系のような気がします。今回私は、9月に阪急うめだ本店、10月に新宿高島屋に参加しましたが、ここ数年なかつたような盛況ぶりに、ちょっと感動してしまいました。足の踏み場もない、とはこのことでしようか。そうそう、催事ってこれくらいの活気が無ければダメですよね。ちょっと人酔いもしますが（笑）、皆さんのお顔を見ることができますが、うれしかったです。これから冬になりますが、また来年催事場でお会いしましょう！

先日、家の近くに冷凍餃子の無人販売所が出来ました。36個くらい入って1,000円の冷凍餃子を冷凍庫から出してお金をボックスに入れる仕組みですが、実はこの販売所、半年前に家の近くに1店舗すでにオープンしていました。なので500メートルくらいの近距離に、同じ会社の冷凍餃子販売所が2件あることになります。どれだけ人気なのだろう、と驚き、さぞや美味しいのだろうと買ってみました。が、正直味は普通に感じました。大手メーカーがスープ一などで販売している冷凍餃子と味は大した変わらず、むしろ少しサイズが小さい分コスパが悪いのでは……と思いましたが、そこそこ売れているようなので、味の評価も悪くないのでしょう。確かに、餃子って自分で作るのは面倒ですよね。でも、居酒屋などで餃子があると頼む人が多いメニューだそうなので、冷凍餃子のニーズがある理由は理解できます。実際、この3年間で全国に1,000店舗以上設置されたそうです。新型コロナで外食を自粛する人が多くなつたことも、増えた原因のようですが、それによっても短期間で爆発的な増殖を繰り広げているといつていいでしよう。

無人販売って、とても日本らしい仕組みですよね。「購入者は商品と引き換えに必ずお金を払う」という性善説により成り立つている商売で、海外ではほぼありえない販売形式です。海外でこれを行うと、一日で商品は無くなり、お金を払う人はいないでしよう。もしいたとしても、そのお金も誰かに盗まれる可能性が大です。外国人観光客が、日本の自動販売機を見るとともに驚くそうです。海外でも自動販売機はあります、設置場所は学校や役所、ショッピングモール等、壊される可能性の低い場所限定で、日本のように駅前や住宅街、お店の前や駐車スペースなどに設置されることはほぼありません。そのようなところに設置すると、速攻で壊されるそうです。そう考えると、日本ってまだまだ平和だな、なんて思ったよりもします。

無人販売所ですが、最近では冷凍肉のお店も増えてきました。こちらも、冷凍庫から肉を取つて、お金をボックスに入れる方法だそうです。人件費がかからない分商品を安くすることができます。私は、利用者には好評だそうです。対面販売と比較して、もしかしたら気楽なのかもしれません。コンビ二でも、無人販売のトライアルをしているところがあるようです。でも、私は何でもかんでも無人販売になつてしまふのはちょっと寂しい気もしています。私は、日常生活の上で一定のコミュニケーションを取りたいと思っている方なので、「いらっしゃいませー」「ありがとうございますー」というあいさつや、商品に関する店員さんとのやり取りなどに楽しみを見出しています。そういう意味では催事販売は「コミュニケーションをしながら販売をする究極系のような気がします。今回私は、9月に阪急うめだ本店、10月に新宿高島屋に参加しましたが、ここの年なかつたような盛況ぶりに、ちょっと感動してしまいました。足の踏み場もない、とはこのことでしようか。そうそう、催事つてこれくらい活気が無ければダメですよね。ちょっと人酔いもしましたが(笑)、皆さんのお顔を見ることができて本当にうれしかったです。これから冬になりますが、体調に気を付けて、また来年催事場でお会いしましょう!

西園寺

# 新しい農地を圃場にしよう！<第二弾>



前回までのあらすじ：

今まで使っていた圃場の一部が高速道路の用地に該当し、買収されてしまいました。そのため、私たちは新しい農地を購入しました！ですがこの農地、あまりにも草木が凄すぎて、すぐには使用できません。まずは整地を行い、トラクターで畑を起こすところからスタートしたのですが。。

今回は、新しい農地を圃場にするまでの奮闘記（第二弾）のお話です。



今年6月の圃場

## ・今年の1月ごろ

さて、この圃場には水源がありません。そのため、井戸を掘る必要があります。今回は、2カ所に井戸を掘ることにしました。

ちょっと気を抜いたら、→すぐに草が生えます。。。雑草ってすごい。。



井戸掘りは、水道関係の業者にお願いします。車2台で、何やら機械つかって掘り始めます。

このあたりの土壌は、近くに河川があることから10メートルくらい掘れば出てくるのではないかとのこと。掘る深さによって金額が変わるので、10メートルくらいで出してくればいいなあ、と期待して作業を見守ります。

1時間後・・・・



出てきた出てきた！  
11メートル付近で出てきました。  
予想どおり！！  
毎分40リットル位  
とのことなので、  
結構水出るじゃん、  
ということで一安心です。



2カ所目も無事に採掘！



割と水はきれいですね。  
場所によっては真っ赤な水  
(カルキ) が出てくることもあるので、一安心です。



とりあえず、終了。

ここから、水が出るようになりました。  
基本的に、シソの植え付けの時に水が必要なので、  
このポンプ、大事に使わねば。

## ・今年の10月ごろ

次に、この枝・・・ →

このような枝の山が50カ所ほど圃場の周りに置かれています。  
薪とかで使えるものは持つて行ってもらったので、  
あとは処分場にもっていくか燃やすかしか方法はありません。



でも、処分場にもっていくと、  
莫大なお金がかかります。(たぶん100万位)  
基本的に野焼きは法律上できませんが、農業や林業で  
出る選定ゴミは、例外的に届け出をすれば燃やすことが可能です。

なので・・・「燃やします！」



でも、一度に50カ所  
燃やすとさすがに怒られるので、2カ所ずつ  
順番に燃やしていきます。

どんどん燃やします。



時間がかかりそうなので、他の山からも運搬するものをどんどんくべます。  
結構気温が低い時期ですが、熱い！

終了。燃えるまで5時間・・



これは大変な作業だなー。  
でもこの灰は畑にまくと作物の肥料になるんです。

というわけで、20カ所程処理しました。残りは来年かな。

ちなみに、実はもう1カ所別の場所に圃場を購入しました。  
こちらは、ブルーンなどの果樹を植える予定です。

このお話を次回に！